

群馬工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	古典
科目基礎情報					
科目番号	1A040		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	一般教育		対象学年	1	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	教科書: 国語総合古典編 東京書籍 9784487165049				
担当教員	田村 祐子				
到達目標					
<input type="checkbox"/> 古典を学習する意義を理解し、古典に親しむ態度を養うことができる。 <input type="checkbox"/> 古文の学習に必要な基礎的知識を習得し、活用できる。 <input type="checkbox"/> 古語と現代語を対照し、日本語の特質について理解を深めることができる。 <input type="checkbox"/> 古典の読解・鑑賞を通して、思想や文化の普遍性・個性について考察する視座を広げることができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	古文の基礎的な知識を理解し独りよがりなリズムを体感した上で、古典に親しみ、古典の意義を理解することができる。		古典についての基礎的な知識を習得し、古典に親しむことができる。		古典についての基礎的な知識が知識が習得できず、古典に親しもうとする姿勢を持つことができない。
評価項目2	古典の随筆や物語の文意を正しく理解し、辞書を活用して現代語訳することができる。		古典の随筆や物語の文章を正しく理解できる。		古典の随筆や物語の文意を理解できず、辞書の使い方が習得できない。
評価項目3	古典のおもしろさを味わい、作者の考えに対する自分なりの感想を持つことができる。		古典のおもしろさを近いし、作者の考えを把握することができる。		古典のおもしろさが理解できず、古典文学に対する興味を持つことができない。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	古文の組み立て、語句の働き、表記のしかたを理解し、文章の主題や要旨を的確にとらえる方法を学ぶ。古文教材として『宇治拾遺物語』『徒然草』『伊勢物語』を取りあげて読解・鑑賞する。				
授業の進め方・方法	教科書に従い、講義形式で行う。定期的にノート・プリントの点検をする。				
注意点	中学校ですでに古文に接してきたでしょうが、また改めて入門するつもりでがんばりましょう。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	ガイダンス	・ 古文学習の意義を理解する。 ・ 授業の目的や概要を把握する。	
		2週	今昔物語集	・ 内容をとらえながら正しく音読する。 ・ 歴史的かなづかいを理解する。	
		3週	宇治拾遺物語	・ 説話のおもしろさを味わう。 ・ 古語辞典の引き方を理解する。	
		4週	十訓抄	・ 基本的な古語の意味や用い方を理解する。	
		5週	品詞の分解	・ 古語の品詞の特質を理解する。 ・ 品詞分解の手順を会得する。	
		6週	動詞の活用	・ 活用・活用形・活用の種類といった文法用語を理解する。	
		7週	形容詞・形容動詞の活用	・ 古語の用言の活用について理解する。	
		8週	中間試験		
	4thQ	9週	徒然草	・ 随筆文学の特質を理解する。	
		10週	徒然草	・ 作者の考えを、叙述に即して的確に読み取る。	
		11週	徒然草	・ 作者の考えを踏まえて、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。	
		12週	伊勢物語	・ 歌物語の特質を理解する。	
		13週	伊勢物語	・ 人物、情景、心情などを、表現に即して読み取る。	
		14週	伊勢物語	・ 創造力をはたらかせながら、物語の世界を読み味わう。	
		15週	助動詞	・ 古語の助動詞の特質や働きについて、体系的に理解する。	
		16週	(助動詞)	(・教科書の古文教材を参照していろいろな助動詞の意味を理解する。)	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	中間試験	期末試験	レポート	小テスト	合計
総合評価割合	40	40	10	10	100
基礎的能力 or 専門的能力	40	40	10	10	100